寫眞週報

情報局編輯

六月二日・第二百七十四號・十セン

[illegible] 第二百七十四號

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

畏くも
皇后陛下には決戰下の民草に
深き御慈しみを垂れさせられ
親しく戰時下に於ける國民總努力の
眞相を御視察あらせ給ふ
街に職場に　つぶさに御目をそゝがせ給ふ至仁至慈の御德の辱けなさ
今日　戰ひはまさに決戰の時にあり
銃後婦人の挺身活躍に俟つもの多し
恵澤彌が上に洽きこの光榮に
誓つて國民皆働の實を上げ
御懿德に應へ奉らう

皇后陛下　帝都四箇所に行啓決戰下銃後女性敢闘の姿を親しく御覧遊ばさる

畏くも　皇后陛下には五月十九日、東京市特別衛生地區保健館、財團法人東京府授産協會豊島授産場、東京第一陸軍造兵廠、凸版印刷株式會社板橋工場の四箇所へ行啓あらせられました

この度の御巡視は、決戰下必勝の意氣に燃えて日夜孜々として增産に精進する産業戰士、勤勞奉仕に敢闘する報國隊の活動狀況、防空に挺身する隣組防空群の訓練や、育兒、保健、授産施設等に活動する銃後女性の眞の姿を御視察、御激勵の御趣旨と洩れ承ります。尊き御姿を咫尺の間に拜しました人々はもとより、それに續く一億の民草たるわれら、この有難き思召に恐懼感激、なほ一層御奉公をお誓ひ申し上げねばなりません

皇后陛下豊島授産場に行啓

謹寫　宮内省

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

秩父宮妃殿下
御視察の光榮に
奮ひ立つ女性たち

靜岡縣御前崎村

畏くも　皇后陛下には、決戰下雄々しく銃後に戰ふ婦人の上を思召され、五月十九日には、東京市内四箇所に行啓あらせられましたが、各宮妃殿下におかせられても、この度　皇后陛下の御内旨を奉ぜられて、全國各地を御視察遊ばされることになり、秩父宮妃殿下には、五月二十日から四日間にわたつて靜岡縣下十八箇所を御巡歷、縣下婦人の戰ふ姿を親しく御覽遊ばされ、有難い御激勵の御言葉を賜はつたのでありました

畏くも秩父宮妃殿下の御視察を賜はつた靜岡縣下の婦人たちは有難い思召に感激してゐますが、本誌は宮妃殿下御視察の光榮に浴した各地の中から、漁村の代表として御前崎村を、農村の代表として櫻木村を選び、兩村婦人日頃の敢鬪ぶりをあるがまゝに記錄してみました

この村の婦人たちが、漁をする以外の何もかもの仕事を女手一つに引受けてやりとげてきたのは、もうすでに何十年來のことです。七百戸の全村あげての純漁村であつて、働き盛りの男は揃つて近海或ひは遠洋へ、日の丸押し立てゝ漁にゆく。村に殘つてゐるのは女と子供と年寄しかない。育兒、家事は勿論のこと、漁具の整備、魚の運搬、品仕事その他一切の陸の仕事は——女でやつてもらひたい、といはれる前に、女の方で一切合財ひきうけたのでした。男はだから安心して、命を的の漁に出かけてゆけるのでした

戰爭は漁船の數を減らしました。しかし、漁船を下りた若い男は、今度は軍艦に乘り、輸送船に乘組んで戰場へ征きました。私たちは笑つて男子を送りました。ヤンキー共をやつつけて下さい、私らのことは心配しないで、私らには昔から鍛へてきた働く腕があります、意氣があります

港を出てゆく名譽の男子に、本當に誇りを以て贈つた言葉はこれでした——と村の婦人たちは交々から語るのでした

⇦濱に上つた鰹、鮪等は大漁のときは何千貫といふ大山を築く、これを運ぶのは皆女の仕事です。今日は時化氣味で、船は夜になつてやつと歸つてきたのでした

働く女への訓練は早くも國民學校から行はれます。漁船と取り交すべき手旗訓練は、今日も女子青年團員の指導ではじめられました⇩

御寫眞は二十二日相良町婦人の海藻採取を御覽遊ばされる秩父宮妃殿下

⇨全國でも珍しい女ばかりの警防團が、もう既に十何年來、村をがつちりと護つてゐます。消防、救護、防空、いづれも男にまさる働きぶりです

⇦必要事項の傳達、必需物資の配給、貯蓄等、隣組が普通うけもつ仕事のほかに、こゝでは各隣組で納税組合を作り、日婦會員が集金を引受けてゐます

秩父宮妃殿下
御視察の光榮に奮ひ立つ女性たち
靜岡縣櫻木村

⇨「やあご苦勞さん、精が出ますね」村長さんは娘たちに挨拶しました。村の娘はいま總出の茶摘み最中です。この村でも百町歩の茶園から年六十万貫を生み出すさうです

「この村の婦人方の活動ぶりを見せて戴けませんか」との乞ひに、役場で事務を執つてゐた村長の山崎さんは、「別に自慢する程のものは何もありませんが、それでは只今やつてをりますまゝをご覧にいれませうか」と氣さくに自轉車に跨ると、初夏の野道を走り出しました

あちらの田圃、こちらの茶畠から寄せられる村人の挨拶に「やあ、ご苦勞さん」と返禮を笑顔と一緒に投げ返しながら、村長さんは村の婦人たちの健氣な働き方をポツ／＼次ぎのやうに語りました

「靜岡縣下は元々比較的惠まれたところだつたものですから、男子の十分あつた頃はこの邊の女も今ほどには働きませんでした。働く必要もなかつたわけです。しかし今は違ひます。誰も彼も一生懸命です。名物の茶摘みは勿論のこと、共同炊事も、共同保育も、野良仕事も、加工作業も、婦人たちがしつかり引受けてゐてくれます。殊に私が頼もしく思つたことは、最近、第一期工事に成功した乾拓工事です。この村の田地四百五十町歩のうち、百五十町歩は惡質の地下水のためにひどい濕田で、收穫が昔から少いのです。一粒でも多く穫らにやならないこの際です、增産のために、村では思ひ切つて濕田の乾拓を志したのです。人手のない折、村としては大事業です。ところが、この大事業を喜んで引受けてくれたのは村の女子青年でした。村長として嬉しかつたですね。この二月から鍬を振ひ、杵を打ちこんで、懸命に働いてくれた女子青年を中心の婦人たちの努力はつひに報いられて、七十町歩に暗渠を構築する第一期乾拓工事は最近見事に完成したのでした。この心意氣に私は、將來若い男手を一人殘らず御國に捧げても、わしら年寄と女手だけで田も畠も立派に守つてゆけると確信しました」

⇦ 茶摘みで學校も今は休み、この休みの學校は全村十を數へる共同保育所の一つに變つてゐます。保姆さんは學校の先生、女子青年團員が受持つてくれてゐます。この人は村唯一の女子大出、山崎さんです

⇦ 暗渠構築の第一期工事は一部早くも始められてゐる。身仕度甲斐々しく今日も出勤した女子青年團員たち。仕事終つて一休み[illegible]辨當でした

⇦ 女の手での牛耕もこの一、二年來めつきりふえたさうです。どうです、手綱さばきも中々うまいものでせう

⇦ 「加工部としての叺の製造は年々六十万枚に上り、村では大きな仕事[illegible]女[illegible]夜なべをし、農閑を惜しんで作り[illegible]とげてゐます」

お母さんたちよ
安心して娘さんを職場へお送り下さい

勝ち拔くために女子の戰力が勤勞戰線に受持つ役割の重要さは、いまさら說くまでもない

イギリスでは、既に女子の防空隊員が鐵帽もいかめしく觀測器にしがみついて、本土防衛にあたつてゐる。また、最近アメリカの陸軍統帥部では、新規に五十万の婦人補助隊員の增加を要求してゐるといはれる。敵でさへ、いや、敵は女子に軍務に就くことまでも望んでゐるのだ

決戰のいま、『有閑令孃』の名がまだ銃後に殘つてゐることを、母も、娘も、さらに日本の女性全部が連帶の責任で深く反省し、慚愧する秋だと思ふ

日本の男子は戰火で鍛へられ、どし〱固い殼を破つてゐる。女性よ、職場に飛び込め。そして、そこで熱火の增產魂と逞しい勤勞で磨かれ、戰ふ日本女性の美しさと品格をしつかり創り上げてゆかうではないか。職場は戰場に通じてゐる——

今日は東京市杉並區の的場モトさんと一緒に藤倉航空工業株式會社を訪れ、女性の職場を十分見學しよう。母たちも、職場に對するこれまでのやうな姑息な考へを捨て、息子を戰地に送る時の立派な態度、あの態度で娘たちも職場へ、女の職場へ送り出さうではないか

撮影 飛田 昌哉

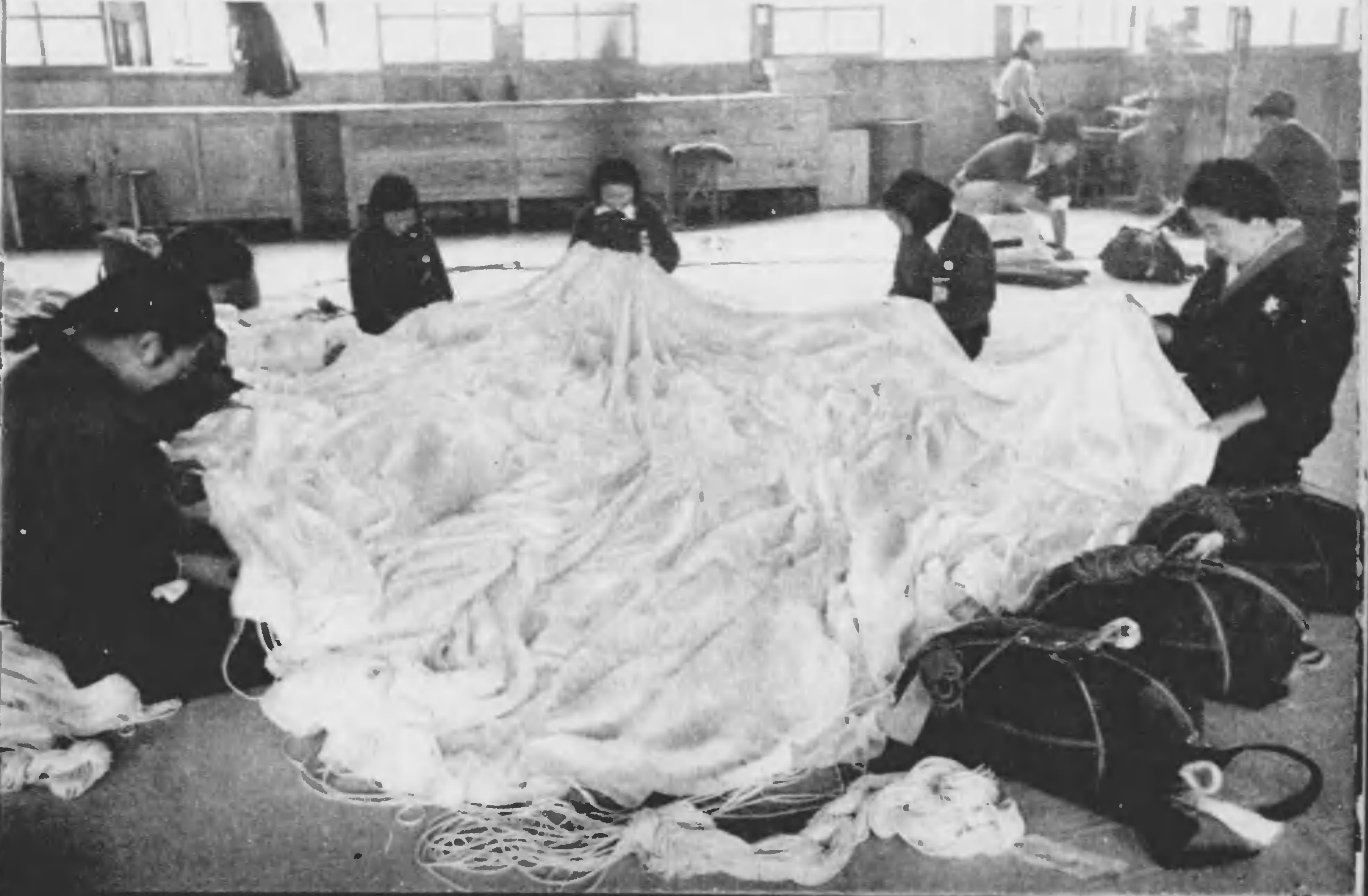
⇦寄宿舍は四疊半に三人位の割合、舍監の下に班長があつて全く規則正しい日常が送られる。洋裁、和裁、華道その他女のたしなみには十分氣が配られてゐる

⇦寄宿舍の中庭に設けられた清潔な洗濯場、樂しいお手傳ひをしながら、的場さんは『時局下の工場といふものをはつきり知ることが出來ました。私にも結婚前の娘が一人ありますが、これなら安心して送り出せると思ひます』と語つた

⇨一針、一針を全くゆるがせにしない眞劍な眼 乙女は戰つてゐるのだ……

⇨陸軍落下傘部隊がパレンバンにたてた偉勳の陰には、夜を日についで製作にあたつた乙女たちの努力があつた。感謝狀をかこんで

⇨『今日はわたしたちがお母さん教育ネ、兵隊さんのご苦勞を想へば、決してつらいと思ふことはありません』座談會では率直な發言が的場さんの胸を打つ



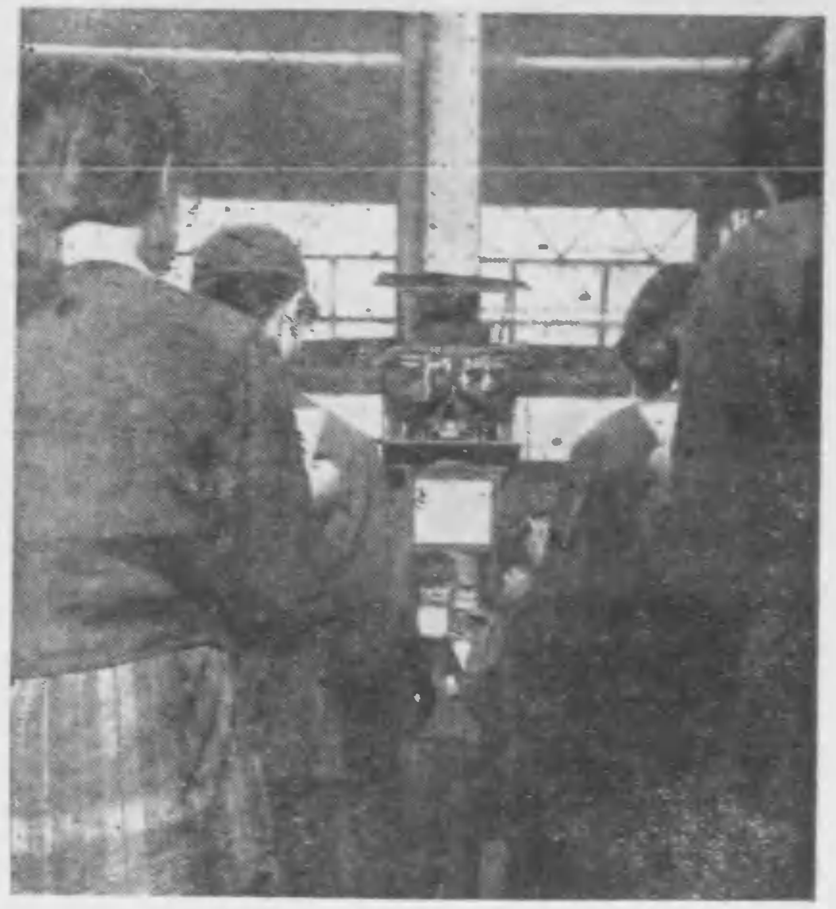
⇨いよ〱檢査が終れば、あとは大空にパッと咲く日を待つだけ。的場さんも何かしらホッとする

必勝の生産へ
まづ鉄壁の安全

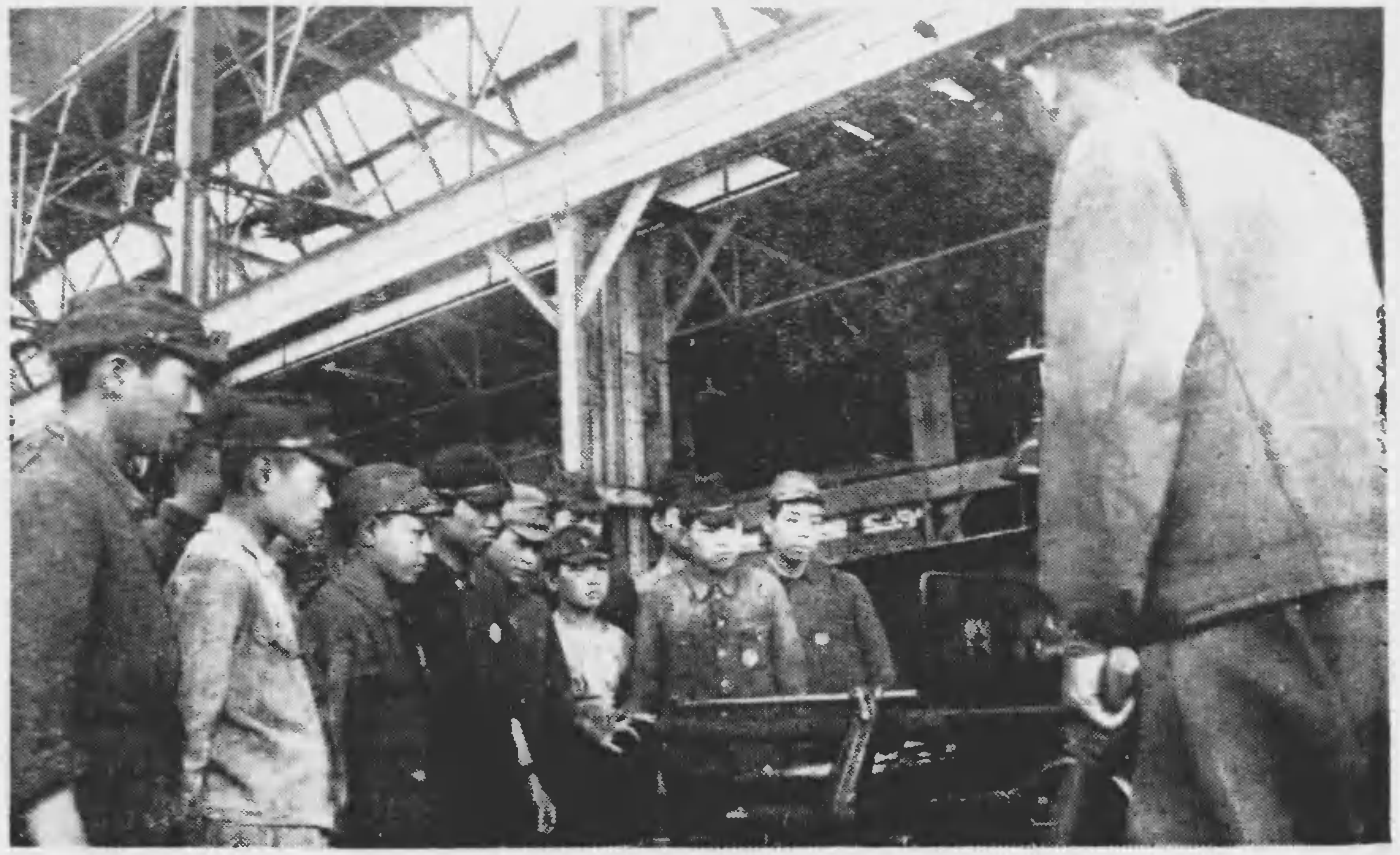
決戦の今年、戦力増強を阻むものは敵と同じだ。生産陣營において、自分一人のちよつとした不注意から、他の工員に迷惑をかけたり、事故を起して、大切な生産を止めるやうなことが少しでもあつては、生産戦の敗北となる。ここに「戦力増強安全強調週間」が六月一日から一週間全國に行はれる意義がある

機械、工具の整備、職場の整頓があつてこそ、必勝の生産が行はれる。キチンと整頓した職場の中で正しい姿勢をとつて作業すること、これが必勝生産の第一歩である。更には萬一の空襲時に起り勝ちな災害を防ぎ、一機でも一發の弾丸でも多く前線へ送らねばならないのだ

⇨ 事故の原因は借金や家庭のいさこざが多い。不安な[illegible]ら、と工場内の人事相談所が工員の悩みを解決して職場の安全へ

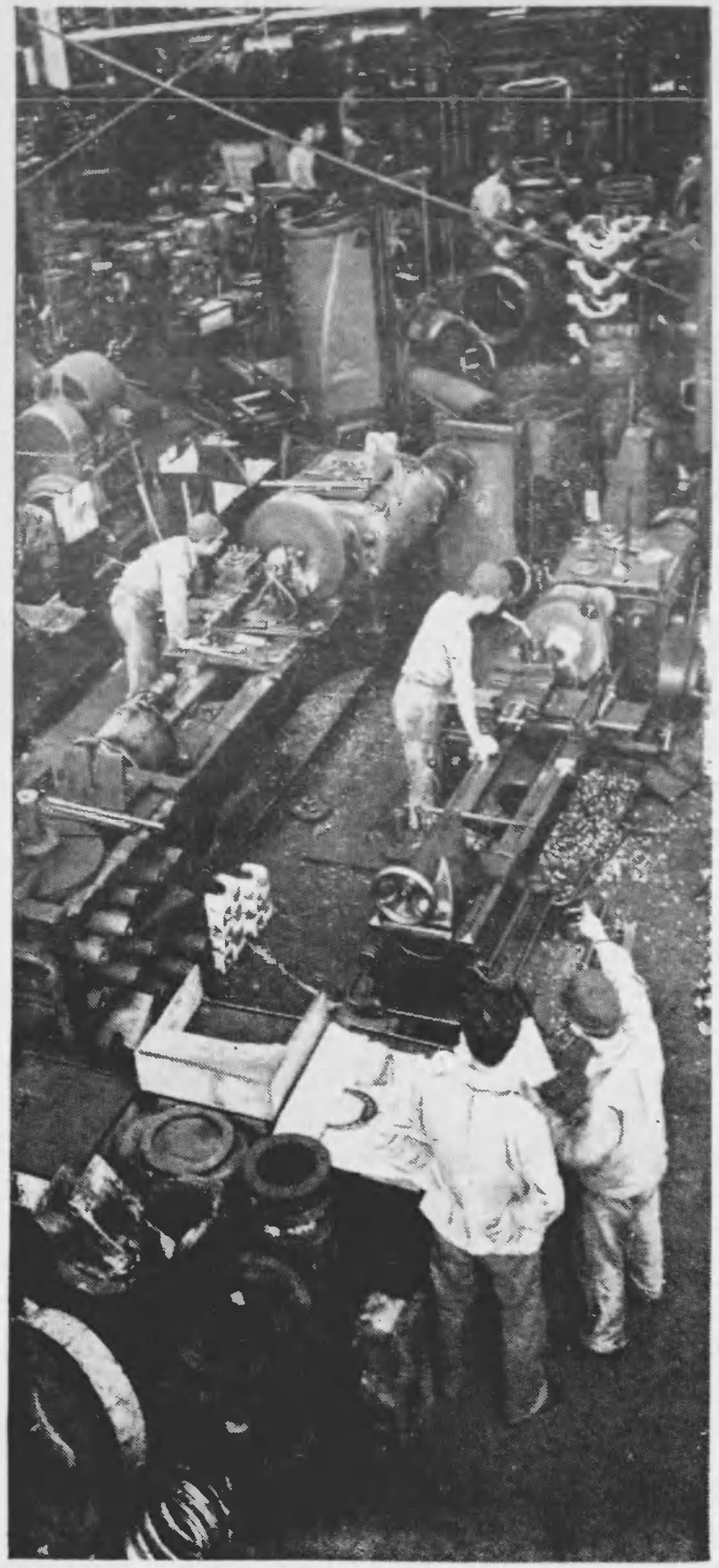


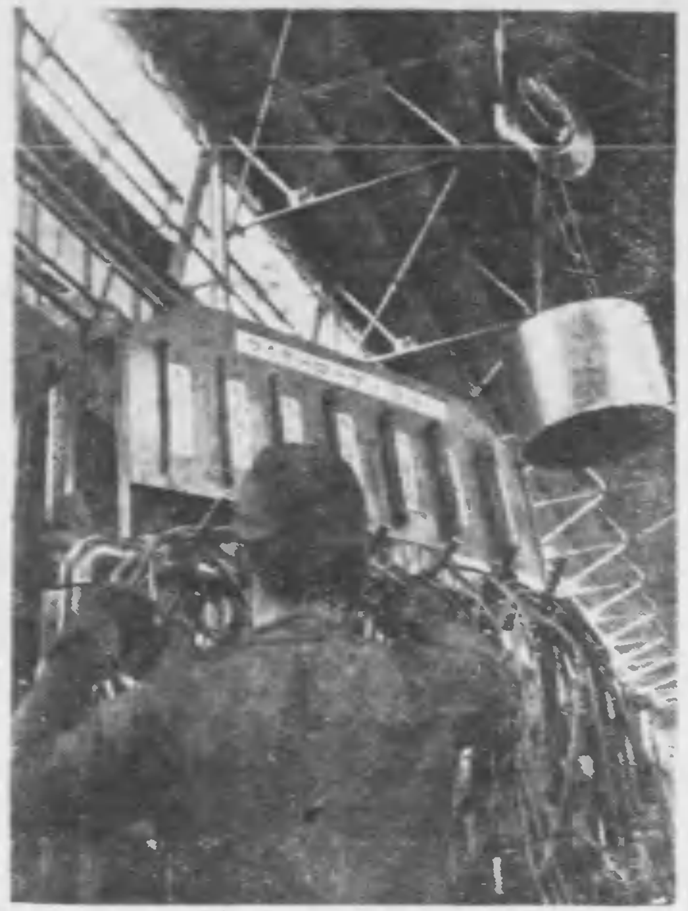
⇨ 一、心身ますます壮健にして益々報國の業にいそしまんことを 安全組の朗誦は朝の職場に響き渡る



⇨ 安全作業した、[illegible]少年工員を親身な先輩工員が實地訓練で鍛へてゆく

⇦ きちんと片付けられた職場内の通路は、必勝生産の道でもある





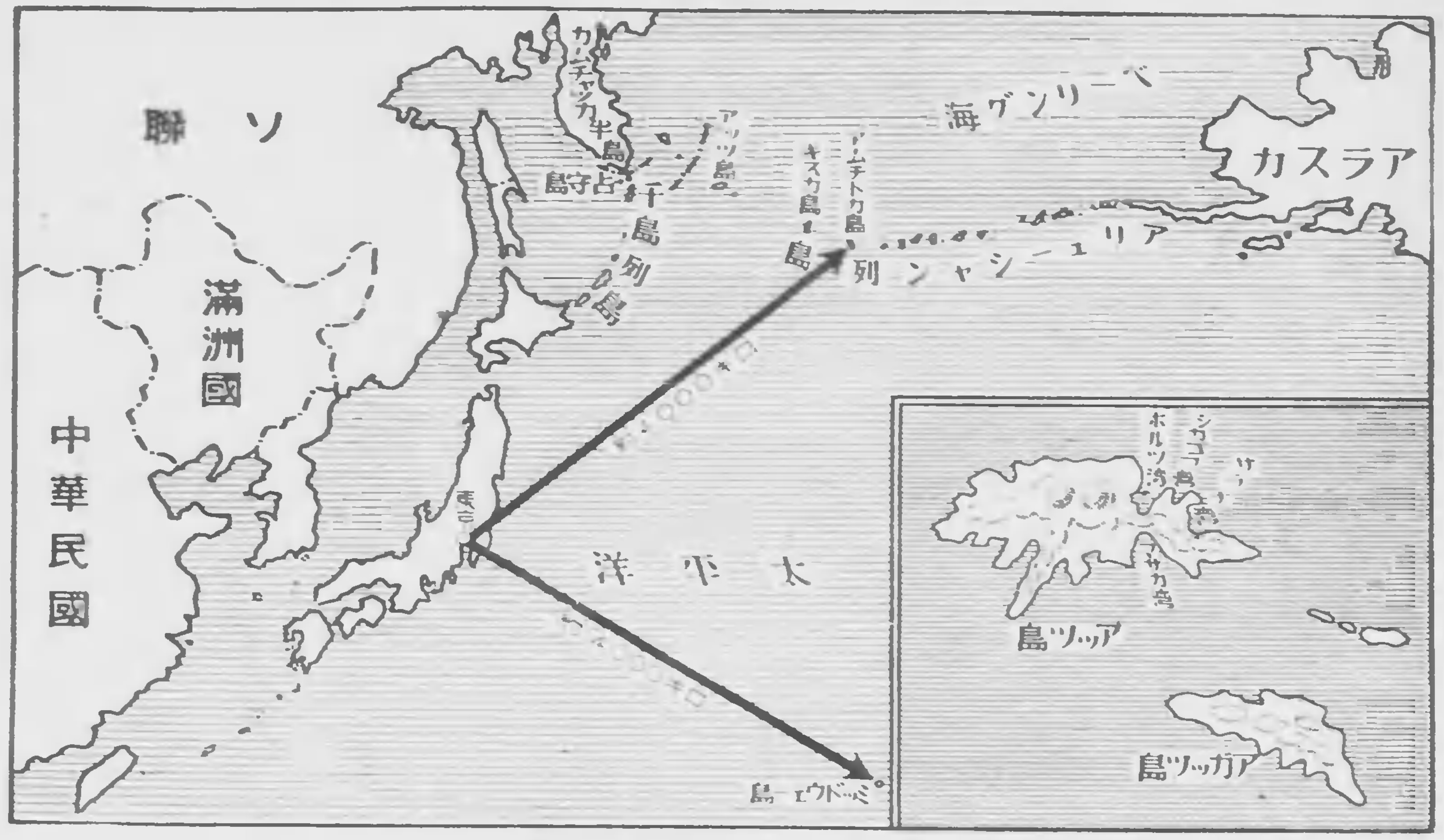
△ 職場ではこの週間中に、熟練してゐない少年、女子、轉業、徴用等の新入工員のために、積極的な安全作業の指導と職場の規律増進を目指す『安全生産挺身隊』を組織して、防空施設の整備から救護、等の非常時訓練を行ひ、決戦下、工場生産の確保を図つてゐる

⇧ これまではこのワイヤロープへ人よじ[illegible]たが、[illegible]時間も合はぬ、熟練した目測でピタリとあてる

⇦ 『[illegible]』に安全生産挺身隊の率先指導で一段と生産力を高めてゐる

決戰の秋へ

世界戰局緊迫す



開戰以來、敗北に敗北を重ねた敵が、總反撃の年とした今年も、間もなくその前半期を終らうとしてゐる。われ／＼もまた決戰の年としてこれに備へ、あらゆる努力を戰爭完遂に傾注してきた。しかも太平洋戰線、歐洲戰線のいづれを問はず、激闘に次ぐ激闘は、世界戰局が日を逐うて凄惨な決戰様相を呈しつゝあることを示してゐる。喰ふか、喰はれるか。亡びるか、榮えるか、決して妥協のない戰爭……われ／＼は常に世界戰局の推移を認識し、決戰に應ずる覺悟を一層新たにしなければならない

敵陣に猛追撃 ―湖南戰線―

チュニジア作戰終結す

まづ歐洲を大觀しよう。全世界の注目を集めてゐた北阿戰局に關して、ヒトラー總統大本營は去る五月十三日

「獨伊兩軍アフリカ部隊の英雄的戰闘はこゝに光榮ある最後を告げた。チュニス市附近において最後の抵抗を繼續してゐた部隊は、過去數日間に亘り、水も食糧もなく、しかも苦戰をつゞけたが、つひに彈藥つきて戰闘を停止するのやむなきに至つた。チュニジア戰線における樞軸軍の優秀なことは、敵軍もしば／＼認めたところであるが、樞軸軍は敵軍の攻撃に屈伏したのではなく、結局、補給の缺乏に屈服したのである

しかしながら、獨伊アフリカ部隊は負託された任務を完全に果した。彼等は數ケ月にわたり激戰をつゞけ、寸地を容易に譲らず、有力な敵軍部隊をアフリカ戰線に釘づけにし、敵軍に對し人員資材兩面にわたり、極めて甚大な損害を與へた」

と發表、北阿戰局に歴史的な段階が劃された。さき頃から傳へられてゐたチュニス、ビゼルタ等からの撤收がこれによつて確認されたことは、われ／＼樞軸側にとつて決して好ましいことではなかつたが、この發表にもあるやうに、こゝ半年の間、敵大部隊をアフリカの一角にひきつけ、人員と資材の上に大損害を與へ、さらにその間、歐洲防衛の體制を強化し得たことは、チュニジア作戰の大きな效果であつたことは明らかである

殊に反樞軸軍の損害が豫想以上に多く、獨軍司令部の發表によると、戰死五万（うち將官七名）俘虜十二万（うち將官十二名）戰傷二十万、戰車破壞七千七百二十臺といふ尨大な數に上つてゐる。さらに獨軍司令部當局は

『アフリカ戰線の全作戰を通じて、樞軸軍が最も困難を感じたのは補給の問題であつたが、樞軸軍はしば／＼敵から莫大な軍需品を鹵獲し、いはゆる糧を敵に得ることが出來た。アフリカ戰線における二年半の戰闘において、樞軸軍が使用した貨物自動車の八割、武器彈藥の四割、輕裝甲車の五割、燃料の三割は悉く英軍からの鹵獲品である』

と言明してゐるが、米英兩國が決定的勝利と世界に宣傳してゐるいはゆる赫々たる戰果の陰にひそむものは、實にかゝる笑止の沙汰だつたのである

さらに佛領北阿に上陸した米英軍のために、反樞軸軍が補充しようとした多數の兵員と、多量の物資が、これを積んだ艦船もろともに、獨伊の飛行機や潜水艦によつて海底深く葬り去られてゐる。これらを考へ合せると、反樞軸軍が北阿であげた成果が決定的なものかどうか、自づと判明するのであるが、獨伊はまた北阿における獨伊軍將兵の決死の奮戰によつて十分時を稼ぐことが出來た

北阿戰が展開されてゐる間に、獨伊側は互に緊密な連絡をとりつゝ、歐洲の要塞化を急ぎ、北方から西方イベリア半島に達する海岸は勿論、フランス、イタリアの海岸からコルシカ、サルジニア、シシリー、クレタ島などの地中海島嶼に對しても防備を固め、來るべき敵の第二戰線、歐洲本土上陸の野望に備へて來たのである

敵側が何んと宣傳しようとも、獨伊側の紐帶は搖ぎなく、歐洲における獨伊樞軸の實力といふものは、地理的にみても、軍需生産力や資源の狀態からみても強固なものとなり、第一次歐洲大戰當時の如きものとはおよそ違ふ。即ち軍需資源についても、鋼鐵、アルミニウム、石炭、石油等は樞軸側で自給が出來、軍需生産力もドイツ國内の計畫的整備を行ふと共に、フランス、ベルギー、オランダ等の生産力をも動員することに成功し、食糧資源もウクライナの穀倉に優に依存し得るのである

獨ソ戰線においては、今冬はスターリングラードの戰闘によつてドイツの前進は阻まれ、ソ聯の軍需生産力の中樞を抑へることは出來なかつたが、ソ聯の抗戰力に與へた損害は大きい

現在の獨ソ戰線は、だいたい昨年の夏季攻勢開始頃のところで整備され、各四百万以上の兵力が對峙してゐるのであるが、ドイツ軍は新規動員の精鋭をも加へ、來るべき戰局に備へてゐる

かつてドイツのゲッベルス宣傳相が

『……エッフェル塔の頂上はいつもゆれてゐる。圓の周圍では圓の中心よりも動きが大きい。歐洲戰場といふ大きな圓の周圍で、絶えず風波が立ち騷ぐのは當然である。北阿の戰場も外郭の圓周上の一點に過ぎず、そこで起きた出來事は大きいやうに見えても圓の中心には響いて來ない……』

と面白い比喩を以て北阿戰局を語つたことがあるが、その通り、歐洲における獨伊の大勢には大した影響はないのである

北阿撤退と米英の宣傳謀略

それにも拘はらず、歐洲が北阿戰局の轉回によつて今にも崩れるかのやうに思はせようと、敵米英側はいま謀略宣傳に大童である。北阿撤收とみるや、アメリカ情報局の如きは

『歐洲第二戰線は近づいた。米英軍は歐洲大陸の四方八方から潮の如く上陸するであらう……』

などと氣勢を擧げたり、イタリアに宣傳攻勢を行つたりしてゐるが、彼等の狙ひは、獨伊樞軸國民に不安動搖を起させ、兩國の離間をはかつて、樞軸の一角を崩さうとするにあると共に、この際、彼等が中立國を切り崩して自らの陣營に引き入れようと血眼になつてゐることは、嚴重に警戒せねばならない

すでにトルコ、スペインに對する米英側の宣傳、外交攻勢は相當の活氣を呈してゐる。この兩國がどうなるかは、歐洲の形勢上、重大な關心のあるところであるが、トルコについては五月十日、サラジョル首相が議會において『トルコは中立を堅持して非交戰國の立場をとるだらう』と聲明したとの報道もあり、またスペインにおいて五月九日、フランコ總統が世界戰爭の和平提起を演説したことなどは、何んとかして戰爭介入を避けたいといふスペインの態度を、和平提唱といふ形で表明したものといへよう

我々としては敵米英側の工作と併せて、これら中立國の動きに注目すると共に、かゝる中立國が敵側の言動に迷はされぬことを希望せずにはゐられない

ともあれ、北阿戰局の歐洲に對する影響は、米英側の宣傳するほど深刻なものではないにせよ、五月十一日からワシントンで開かれてゐるルーズヴェルト、チャーチル第五回會談では、反樞軸側の今後の戰略がいろ／＼協議されたことが推定されるのであるから、歐洲においては獨伊樞軸側のこれに應ずる萬全の準備を期待すると共に、我々自身も、來るべき事態に應ずる一段の決意を固めてかゝらねばならない

主戰場をいま直ちに歐洲より太平洋に移動するかどうか、それにはカサブランカ會談などで、從來歐洲第一主義を主張して譲らなかつた英國の立場といふものもあるが、敵側が如何なる企圖に出でようとも、わが方の望むところであることは勿論である。たゞ北阿戰局の推移によつて、米英側の兵力や軍需補給力に多少の餘裕が出來、それが太平洋方面に廻り得ることは、常識的にも考へられることであるから、この點、我々としては一層の覺悟が必要である

殊にワシントン會談の内容に關しては、チャーチルは米議會の演説で、東西同時作戰を示唆して、あくまで歐洲作戰に比重を置かうとしてゐるが、米輿論は徹底的に對日攻勢を主張してゐる。またルーズヴェルトはホワイト・ハウスで記者團との會見の席上、いはゆる對日反攻に關して

『今次ワシントン會議は未だ終結に至らないが、東京における對日攻勢計畫に關しては目下滿足に進行中である』

とはつきり言明し、蔣介石にもこれと同趣旨のメッセージを送つて『日本攻撃計畫は目下着々進行中』と重慶をうれしがらせてゐる。ともかく敵が對獨伊戰と並行して『日本軍が現在の占領地を固め、無盡藏の資源を開發し、もつて絶對不敗の地位を築くことを防がうと』逐次對日進攻を活潑化せんとすることは、火をみるより明らかである。もちろん彼等の空念佛は、われらにとつては何等の威嚇にもならないが、待つあるを恃むわれらの覺悟を一層強固にしな

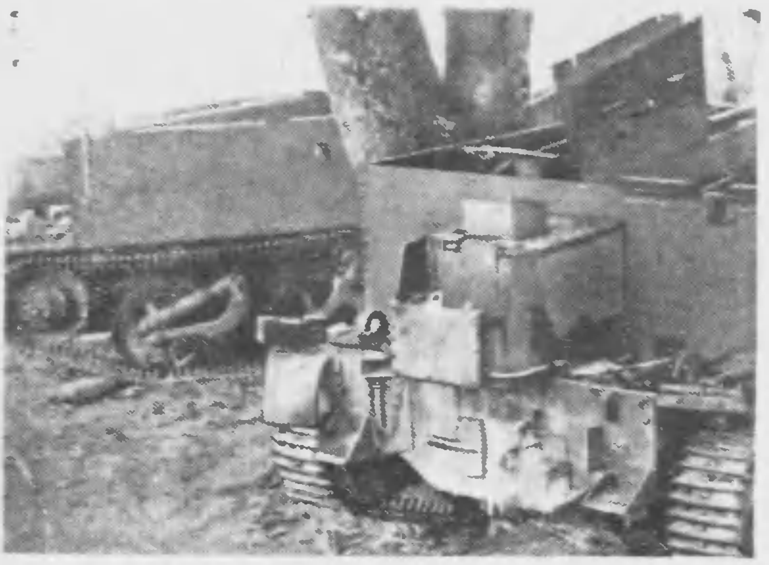
ければならないことはいふまでもない

アッツ島における彼我の死闘

折しも五月十二日、わが大本營發表にあるやうに、敵は有力部隊を以てアッツ島上陸を開始した。アメリカ當局は『アッツ島上陸こそ、米軍の太平洋反撃攻勢の序幕に過ぎず、わが大作戦は結局日本本土に迫るであらう』などと、例によつて誇大宣傳を飛ばして、世界の人々の氣を惹き、我々の心を脅かさうとしてゐる。その後の戦況に關しては逐次大本營より發表されてゐるが、わが海軍航空部隊及び潛水艦は、上空に活躍し、敵艦船に損害を與へて反攻意圖を挫折せしめんとし、また陸上においても守兵よく戦ひつゝあるのである。敵の兵力は有力な艦艇及び航空兵力に護衛をうけてゐる戦車および重砲を有する約一箇師團で、わが守備隊は熾烈な敵の爆撃下、優勢な敵に對して果敢な反撃を加へ、これに甚大な打撃を與へつゝある。しかも部隊長以下將兵の意氣は將に天を衝き、精鋭世界に比をみない皇軍の眞價を發揮して[illegible]の決意に燃えてゐるのである

さて北の新戦場アッツ島は、濃霧と氷に閉ざされた北海の彼方にある孤島で、斷崖絶壁に富んでゐる。立木は殆んどなく、植物はツンドラと若干の雜草だけで、この新戦場では獅の子が一匹動いても直ぐ砲撃や爆撃の的になる。現在は濃霧がたちこめ、五六間先も見えない位の分厚い霧の中で、彼我の死闘が續けられてゐる。濃霧は暖潮と寒潮が交はるところに猛烈に出るのであるが、寒潮はまるで湧つてでもゐるやうにもく／＼と濃霧を立ててガスを噴けて吹きさうである。しかもガスは冷たいばかりでなく、非常な濃霧で、衣服はすぐぼと／＼に濡れてしまふといはれる。住民は、ごく僅かな土人（アリユート人）が居るだけで、植物は全然みのらず、野菜も殆んどない

わが將兵は、かゝる荒涼たる[illegible]の孤島で絶對優勢な敵を相手に、日夜必死な戦鬪を續けてゐるのである。われ[illegible]はアッツ島に奮戦の勇士における[illegible]ない。たゞ／＼生きて[illegible]の戦力を結集し、[illegible]決意を固めるのみである。[illegible]戦局の推移に一喜一憂するのではなく、アッツ島におくる感謝と必勝の念を新たにし、われらの戦争生活に生かし、戦局が重大になればなるほど奮起する日本國民の精華を發揮するのみである


鹵獲敵戦車の殘骸―アラカン戦線

繰返すアラカンの苦闘

だが敵があれほど呼號したビルマ奪回の[illegible]はまさうであつたか、[illegible]に喰ひ込み、アラカンの悲劇を演出して世界の失笑を買つたのみである。大本營の發表によると、五月十四日印緬國境ナーフ河畔の敵據點モンドウを占領した帝國陸軍部隊は、爾後の作戦を準備中である。なほ、昨年十二月下旬アラカン方面の作戦開始以來、五月十日までにわが軍が收めた綜合戦果は、遺棄死體六千四百十四、俘虜五百七十四（うち英國兵相當數あり）その他上掲の『大東亞戦爭日誌』にあるやうに莫大なものに上つてゐる

一方、わが方も本作戦で、戦死七百十四名、戦傷一千三百六十四名、飛行機四十八機といふ尊い犠牲を拂つてゐる

かくて敵がアキャブ奪回の前進基地として多大な軍需品を集積し、十四師團長ロイド少將の指揮の下に防備を固めてゐたモンドウは瞬く間にわが手に陥ち、かへつて、わが軍のインド進攻路を完成させるといふ皮肉な結果に終つた。今やベンガル灣をへだてて一衣帯水の間にあるチッタゴン、カルカッタは、咽喉もと深く匕首をつきつけられ、重大な脅威をうけるに至つてゐる

情報によると、在印敵航空基地の器材の損耗は甚だしく、そのためわが軍のモンドウ攻略にあたつても、著るしくその活潑を缺き、また地上部隊も同様、英人將校とインド兵の確執は救ふべくもなく、戦意を喪失したインド兵が日を追ひ[illegible]增加してゐるといはれる。これに反して、わが精鋭はナーフ河の濁流をへだててインド領を目前に望み、軒昂たる意氣と毅然たる態度で全く敵を屈伏せしめてゐる

一方、米英の策動を唯一の頼みとして、はかない抗戦を續けてゐる重慶政權も、太行山系及び河南河北における徹底的殲滅戦によつて[illegible]陣營はいよ／＼弱く、殊に北支第二十四集團軍總司令龐炳勳の國民政府への合流は、抗戦陣營に一大衝撃を與へてゐる。さきに中國の參戦及び帝國の對華新政策の實施によつて全く抗戦の意義を喪失した重慶政權は、躍起となつて抗日陣營の結束に努力してきた折柄、[illegible]麾下[illegible]軍を含むの兵を率ゐて決然和平陣營に參加したことは、抗戦の將來を十分暗示するに足る。今後、中國參戦の意義、帝國の中國に對する眞意が徹底し浸透するにつれ、抗日陣營から和平陣營への參加もます／＼增加し、重慶政權の動搖は一層顯化するものと思はれる

[illegible]な輸送作戦後、南太平洋方面においては、連日血みどろな航空決戦が續けられてゐるが、ニューギニア、ソロモン、[illegible]いづれも[illegible]に屈伏し、敵は米英航空部隊の[illegible]を[illegible]てゐる

蠻族米英断じて討たん

最後にわれ／＼は、人道の[illegible]なくりすてた米英の、鬼畜のやうな[illegible]をはつきり直視しなければならない。大本營の發表によると、帝國陸軍の病院船で本年初頭から四月末までの間に、米軍飛行機及び潛水艦の攻撃をうけたものは七隻、九回に及び、このうち むらさめ丸、うらる丸、ぶえのすあいれす丸の三隻は[illegible]、その上、戦死傷者まで出してゐる。もちろん[illegible]ない

昨年四月十八日、敵機の帝都[illegible]によつて[illegible]はわれらの心魂に徹してゐるのではあるが、彼らは勝つために全く手段を選ばず、如何なる蠻行も敢へてしようとしてゐるのである。かゝる蠻族が世界に横行闊歩してゐる限り、世界に平和が回復されることはない。われらは、大東亞に新らしい秩序を建設すると共に、世界の公敵米英に最後の鐵槌を下すまで、斷乎邁進あるのみである

上　太行山系の峻嶮を征く皇軍精鋭　下　國府陣營に參加した龐炳勳將軍（左端）と孫殿英將軍（右端）

大東亞戦爭日誌

五月

二日　●帝國海軍航空部隊は五月二日ポート・ダーウィンを攻撃し、敵軍事施設竝に甚大なる損害を與へたるほか敵戦闘機二十一機を撃墜せり。我が方損害なし

三日　●帝國海軍潛水艦は四月下旬さらに南西太平洋方面において油槽船（一万二千トン級）一隻を撃沈せるほか五月に入り左の戦果を收めたり　撃沈、運送船（一万二千トン級）一隻、貨物船（八千トン級）一隻

七日　●（一）山西、河南省境附近に作戦中のわが軍は引續き蔣系第二十四集團軍の殘敵を掃蕩するとともに五月六日より更に共產第十八集團軍司令部及び同劉伯承麾下軍約一万三千に對し包圍攻撃を開始せり（二）山西察哈爾、河北三省境附近に作戦中のわが軍は引續き該地共產軍の掃蕩を實施中なり（三）四月二十九日以降五月二日までに判明せる兩地域の綜合戦果次ぎの如し。敵に與へたる損害　遺棄死體約二千三百、俘虜約二千五百、主なる鹵獲品、各種火砲十一門、重輕機關銃約百五十挺、小銃約三千挺。我が方の損害戦死百六十九名

十日　●帝國陸軍部隊は五月八日十九時マユ河上流ブチドンに突入、激戦の後これを占領、目下殘敵掃蕩中なり

十一日　●中支那方面のわが部隊は洞庭湖畔の重慶軍約七万に對し進攻作戦實施中のところ、五月五日より同十一日までに次ぎの戦果を收めたり。遺棄死體約一万三千百、俘虜約一千三百、各種火砲十三門、重輕機百四十五挺、小銃一千四百五十八挺。我が方の損害は戦死百六十八名なり●帝國海軍航空部隊は五月十一日ニューギニアのメラウケ、同月十四日ガダルカナル島の敵軍事施設を攻撃し、これに甚大なる損害を與へたり

十二日　●五月十二日有力なる米軍部隊はアリューシャン列島アッツ島に上陸を開始せり。同島守備の我が部隊はこれを邀撃し、目下激戦中なり

十三日　●帝國海軍航空部隊は五月十三日ルッセル島上空の空戦において敵戦闘機三十八機を撃墜せり。我が方の損害、未歸還二機

十四日　●（一）帝國陸軍部隊は五月十四日十四時印緬國境ナーフ河畔の敵據點モンドウを占領し、爾後の作戦準備中なり（二）昨年十二月下旬アラカン方面の作戦開始以來五月十日までに收めたる綜合戦果次ぎの如し。遺棄死體六千四百十四（わが軍にて收容埋葬せるもののみ）、俘虜五百七十四（うち英國兵相當數あり）、撃墜せる敵飛行機三百二十七機（うち地上火器によるもの百十八）、撃破炎上せしめたる敵飛行機二百二十五機、各種火砲一百七門、重輕機四百六十九挺、小銃四千八百七十七挺、戦車、裝甲車百十一輛、自動貨車二百五十五輛、撃沈破せる船艇三十九隻（うち一千トン級十六隻）、その他彈藥、糧秣、被服、器材等多數（三）本作戦における我が損害は戦死七百十四名、戦傷一千三百六十四名、飛行機四十八機なり

十八日　●中支那方面の我が部隊は洞庭湖畔殲滅戦に引續き、さらに公安西方地區の重慶第十集團軍五箇師を攻撃、隨所に包圍してこれを潰滅せしめたり。五月十二日より同十八日までの戦果次ぎの如し。重慶軍遺棄死體四千五百九十五、俘虜一千九百四十五、各種火砲二十七、重輕機六十七、小銃九百四十六。我が方の損害は戦死七十名なり

十九日　●帝國陸軍病院船にして本年初頭より四月末までの間に米軍飛行機および潛水艦により攻撃を受けたるもの七隻九回に及び、内むらさめ丸、うらる丸、ぶえのすあいれす丸の三隻は損傷を蒙り、戦死傷者を出せり（註）右船舶はその船名、船型、トン數、艤裝法等の要目につきいづれも利益代表國を通じ敵國側に通告しありたるものなり

二十二日　●帝國陸軍航空部隊は五月二十二日チッタゴン飛行場を急襲、同地に集中しありし敵機の殆んど全部を撃破せり。戦果次ぎの如し。空中戦による撃墜十九機、地上撃砕又は撃破十五機。我が方の損害一機なり

二十三日　●帝國海軍航空部隊は五月二十三日アッツ島附近において敵巡洋艦一隻を撃破、驅逐艦一隻を撃沈、他の一隻に火災を生ぜしめたり。我が方損害なし

二十四日　●帝國海軍潛水部隊は五月十二日以後アリューシャン方面に行動中の敵艦艇攻撃を續行、本日までに敵戦艦一隻、巡洋艦一隻を大破し、艦種不詳のもの二隻を中破せしめたり

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

噫 山本五十六元帥

六月の常會

北に南に、戰局は漸く白兵戰的段階に入りつゝあります。銃後にあるわれらの任務も、いさゝかの弛緩をゆるしません。すべてを捧げてご奉公すべき時です

六月の常會徹底事項、増産、貯蓄、防空、これを措いて我等の任務はありません。さあ、力を揃へて戰ひ抜きませう

國民皆働で食糧増産戰を
二百七十億貯蓄攻略戰を
必勝完璧の防空陣を

食糧増産に總がゝり戰法て

麥の刈入れに、田植に、甘藷の植付にと、いま農村は農繁期の眞最中です。食糧の國內自給を目ざして、全力を擧げて増産に邁進してゐるのです。これはひとり農村だけに任して置くべきことではなく、私ども國民が一人のこらず力を併せて、眞剣になつてかゝらなければ、やり遂げることは困難です。そこでこの大増産を見事にやりとげようと、まづ春の農繁期を戰ひ抜くために、大政翼贊會では、農繁期國民皆働運動を全國に展開することになりました

この運動は、大政翼贊會、大日本翼贊壯年團、大日本産業報國會、商業報國會、農業報國聯盟、大日本青少年團、大日本婦人會を實行團體として（一）今年の米の作付段別を前年以上に必ず増加する（二）そのために全國にあるまだ耕してない土地や、遊んでゐる土地を、洩れなく耕作地にしてしまふことを目標に實施するのです

このための機關として、大政翼贊會の各道府縣支部と六大都市支部、郡市町村の支部に「**農繁期國民皆働本部**」といふものを臨時につくり、これにはさきに述べた八つの實行團體が全部參加してゐます

また「**食糧増産本部**」といふのが道府縣の關係官公吏と農業團體で組織されます。そして、この食糧増産本部では、食糧増産のためにどこの村ではこれだけ、どこではあれだけの人手が要るといふことを調べて、國民皆働本部へ知らせますと、國民皆働本部では直ちにその人數を整へて、その必要な村へ増産援兵を派遣するといふ仕組になつてゐるのです。また、このやうな團體の勤勞奉仕隊のほかに、農村出身者で都會で商業に從事してゐる者や、工場、鑛山、事務所等で働いてゐる人に、仕事に差支へのない程度で、一時農村に歸つて農事に從事できるやうな措置もとることになつてゐます。では、農村に行つてどんなお手傳ひをするかといふと、共同炊事、共同託兒や田植、麥刈等のうち誰にでもできる仕事を引受け、熟練を必要とする主作業は農家の人々に專念して貰ふやうにするのです

なほ、この皆働運動は、どこまでも農村に對する感謝の誠心を少しでも農村のお役に立てようといふ精神に出發してゐるのですから、何らの報酬やもてなしを受けるものではなく、手鍬、手辨當でやるのですから、農家の方も奉仕者も、その趣旨を生かすやうにして下さい。「鐵道省では、勤勞奉仕隊の輸送については特に團體割引の取扱をすることになつてゐます。さあ、揃つて農村へ應援に出掛けようではありませんか

二百七十億貯蓄總進軍だ

六月は上半期の賞與期です。貯蓄戰にはもつてこいの時です。戰機は熟しました。**この六月十五日から一ケ月の貯蓄強調期間に、今年の目標額の三分の一に當る九十億を是が非でも攻略して下さい。**賞與や臨時收入は貯蓄へ、創意と工夫で無駄をなくし、副業や內職で貯蓄源を產み出す等、いくらも方法はあるでせう。十七年度で目標額を突破した府縣はなほ一層の努力を、そして突破できなかつた福島、神奈川、愛知、京都、大阪、兵庫、山口、岡山、愛媛、高知、福岡、長崎、熊本等の諸縣は奮起一番、前年の黒星をとりかへして下さい。全國一丸、一人の落伍者もなく突撃すれば、二百七十億攻略も容易に達せられるのです

防空に必勝陣を固めよう

敵のわが本土空襲の準備は、日とともにますます強化され、より大きな飛行機と、より改善された爆彈をもつて行はれることは必然です。萬全の準備をもつて邀へ撃たうではありませんか。大切な人命を、重要な施設を保護するのがわれわれの防空任務です。敵の挑んでくるこの白兵戰には、より以上の激しい戰意と完璧の防空陣で當りませう

昭和十八年度 國民映畫 國民演劇 脚本募集

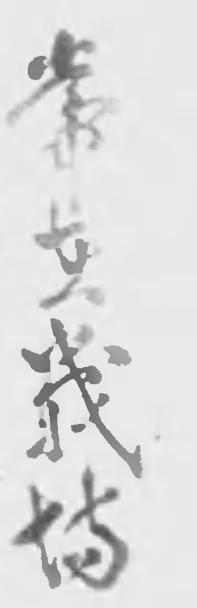
映畫、演劇がその正しい機能を發揮し、決戰下、日本文化の進展に力強く寄與するためには、優秀なる脚本に俟つところが極めて大きい。今回情報局では、雄渾闊達な國民精神を培ひ、もつて聖戰完遂に對する國家總力結集の原動力となるやうな創意に滿ちた國民映畫、國民演劇の脚本を募集することになつた

應募規定

題材、年代	隨意なるも、必ず未發表の創作たること（但し映畫の場合は劇映畫に限る）
枚數	映畫脚本は、四百字詰原稿用紙百五十枚以內（但しシナリオ形式に限る） 演劇脚本は、四百字詰原稿用紙五十枚以上二百枚以內。いづれも三枚以內の梗概を附すこと
締切	昭和十八年十月三十一日
送先	東京市麴町區永田町一ノ一 情報局第四部藝能課（封筒に「國民映畫脚本」或ひは「國民演劇脚本」と朱書のこと）
賞金	情報局總裁賞（映畫、演劇各一篇） 一篇 金貳千圓 情報局賞（映畫、演劇各二篇） 一篇 金壹千圓 但し、右に該當するもののなきときは授賞方法を別に考慮することあるべし
審査員	（映畫）飯島正、伊藤大輔、田坂具隆、牛原虛彥、野田高梧、山本嘉次郎 （演劇）岩田豐雄、岡鬼太郎、久保田万太郎、岸田國士
入選發表	昭和十九年二月下旬 （「週報」「寫眞週報」及びラジオで行ふ。但し、入選者には別に通知す）
その他	應募原稿の第一面には必ず現住所、職業、略歴、氏名（筆名の場合は本名）を明記のこと。應募原稿は返却せず。應募作品の著作權は情報局に歸屬す。入選作品の[illegible]映畫化又は上演は情報局において斡旋することあるべし。應募についての問合せには一切應ぜず

⇧雄渾無比の大作戰を練る山本元帥

元帥在りし日の英姿



常在戰場

⇨艦上に敵を睥睨する元帥の英姿

⇧言行一致の元帥は「常在戰場」といふ句をよく書かれた

⇦ロンドン會議に使した當時、宿舍における元帥

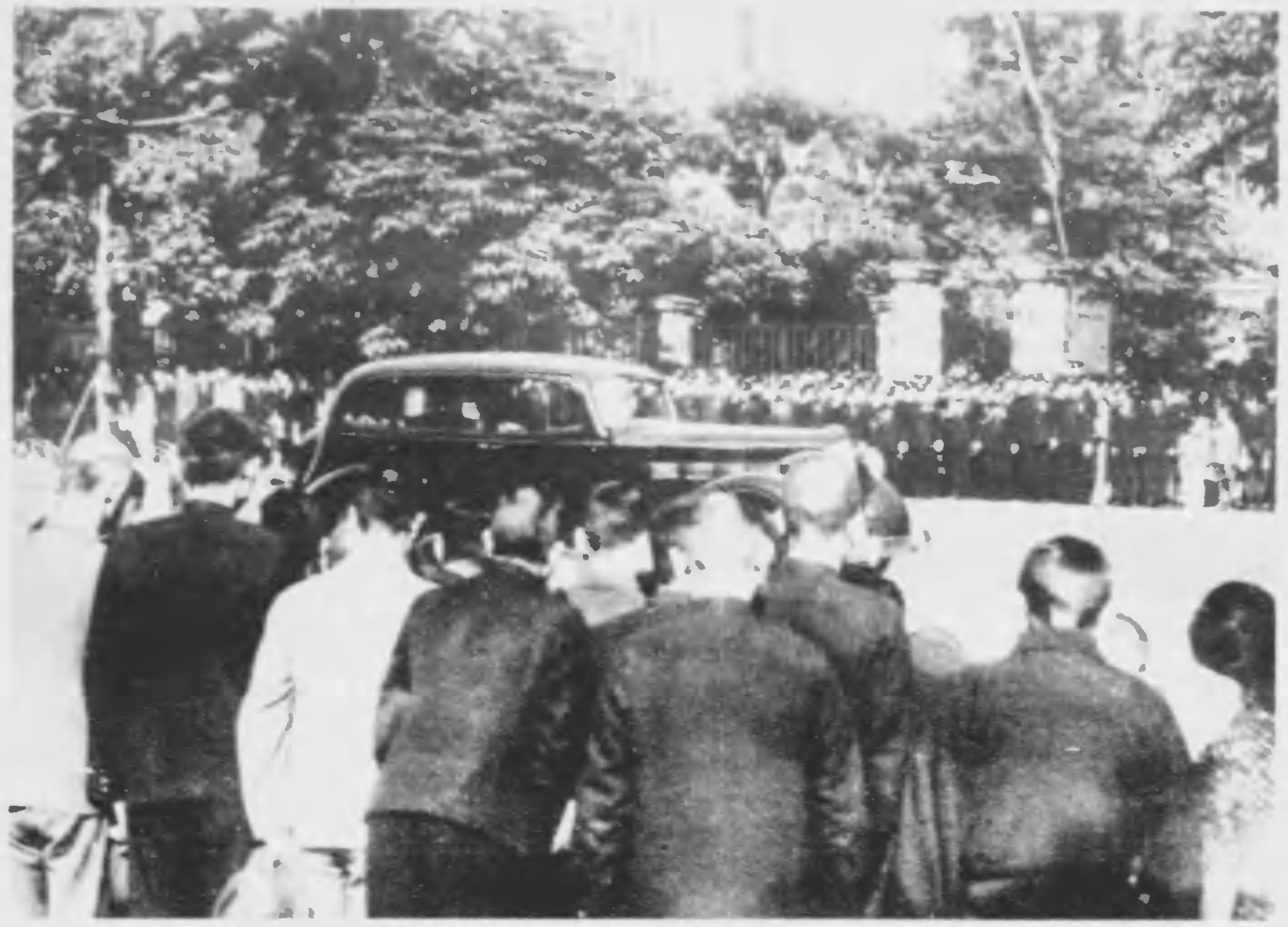
一億 山本元帥の後につゞかん

山本聯合艦隊司令長官は、去る四月前線において、全般作戰を指導中、敵と交戰、飛行機上で壯烈な戰死を遂げた

畏くも　天皇陛下におかせられては、大將多年の偉功を嘉せられ大勳位功一級に敍せられ元帥府に列せられ、特に元帥の稱號を賜ひ正三位に敍せられ故元帥海軍大將山本五十六に特に國葬を賜ふ旨仰出された。誠に武人として至高至大の榮譽であると同時に、大御心のほど恐懼感激に堪へないところである

われらは五月二十一日大本營から發表された山本元帥戰死の報に接し、襟を正し、潸然としてその崇高壯烈なる大精神に觸れて、限りなき痛惜の情を禁じ得なかつた。しかし、既に古賀峯一大將が元帥の後任として聯合艦隊の指揮を執り、帝國海軍はいさゝかの搖るぎもなく、新司令長官を中心に全將兵の士氣はいよ〳〵昂まり、一致結束、烈々たる必勝の信念に燃えて、米英撃滅の一途に邁進しつつあることは心強い限りである

元帥は今次戰爭の劈頭、ハワイ、マレー沖兩海戰において、先づ敵の心膽を奪ひ、全世界を驚倒せしめた偉勳に始り、太平洋、インド洋の全域に亘つた雄渾無比なる大海上作戰の指導に當り、帝國の必勝不敗態勢の基礎を確立した殊勳者であつて、海戰史上に不滅の武勳を樹てたばかりでなく、青史に永くその英名は輝くことであらう。また元帥の勳功は、この度の戰爭において初めて現はれたものでなく、或る時は海軍軍縮會議に使して帝國の主張を貫くために異常なる辛苦を重ね、或る時は海軍航空本部長として、無敵の帝國海軍航空部隊の基を築き、また海軍次官として、多難なる國際情勢下に、軍政の要職に身を捧げたのであつた



敵撃滅の憤激と痛惜の念新たに織りなす發表三日目の五月二十三日、故山本五十六元帥の英靈は帝都に無言の凱旋をした。全世界を驚倒させた千古不滅の武勳に輝き、死してもなほ米英撃たすは止まさる鬼神と化した英魂を迎へて、全國民一億、ひとしく悲憤の涙とともに『われら職場に山本精神を活かさん』と誓つた

父元帥の英靈に縋つく遺兒義正君（水交社にて）**上**。弔旗低く垂れた海軍省前に肅然とお迎へする海軍省職員の前を元帥の英靈を乘せた車は水交社へ向ふ **下**

元帥の仇はキット討つぞ

⇦『元帥に續け』運動は火を吐いて討議された。決議は、増産へマッシグラだ

元帥の仇は
キット討つぞ

⇧『元帥の仇はキット討つぞ』
技校の職場を守る少女工員も必死の増産だ

英靈還る、二十三日午後二時四十三分、悲痛な悲しみに默禱を捧げつゝ、『元帥の仇を討つ』決意に燃え立つた ⇩

『山本聯合艦隊司令長官戰死』

大本營發表の放送に、東京足立區の平田製作所では當夜直ちに緊急全體座談會が開かれた。意外の悲報に全工員は唇を嚙んでうなだれた。が、やがて誰の胸にも次第に燃え立つてくるものがあつた。『誰が元帥を仆したのだ』心の底からこみ上げてくる憤りであつた。誰いふとなく

『元帥の仇を討て』

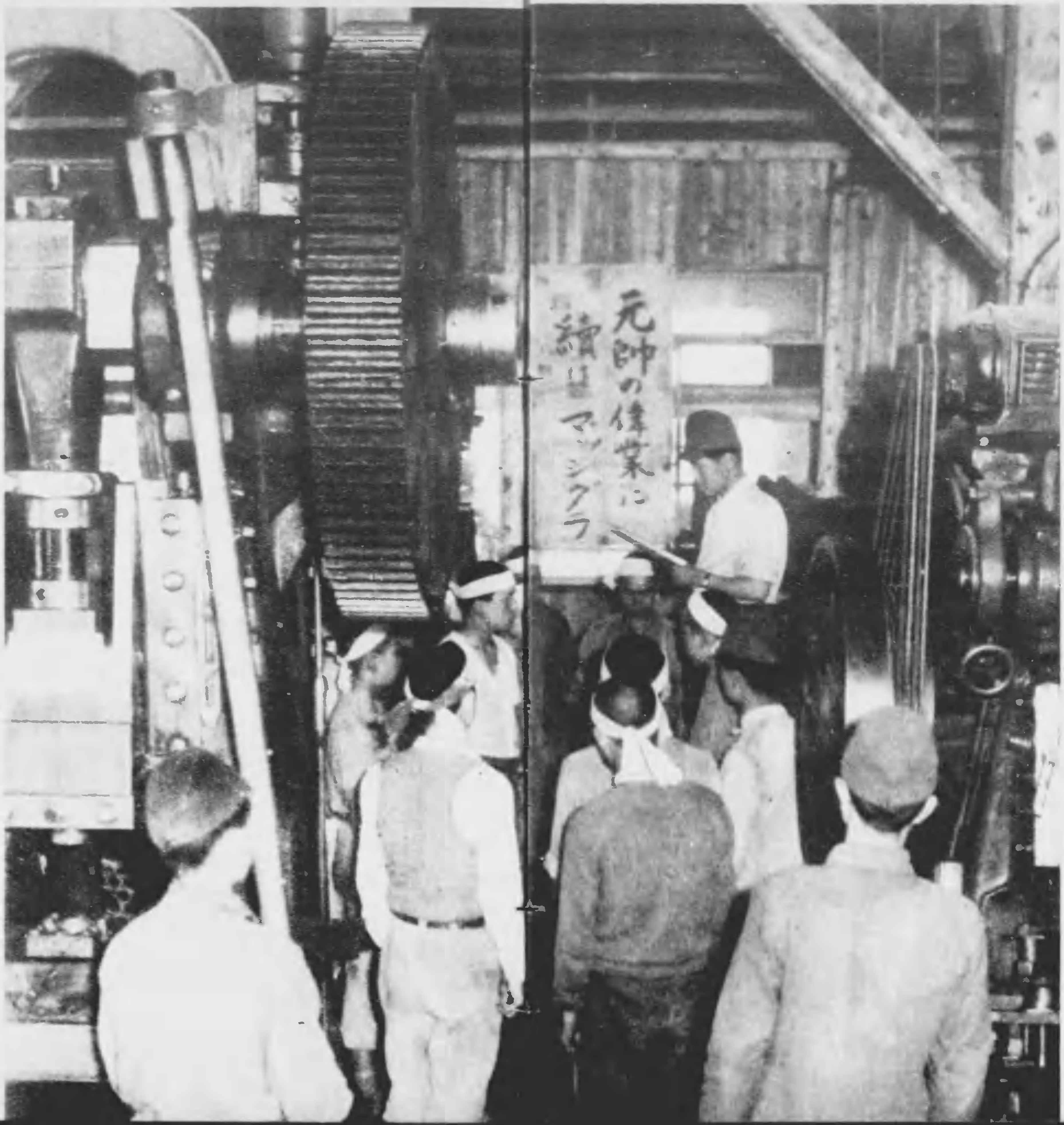
となつて爆發した

『元帥に續け』運動の上程となり、山本魂を職場に生かせの研究討議が夜遲くまで續いた

『沈黙の凱旋』を帝都に迎へた二十三日弔旗も哀しく顫へる下、全工員は、元帥の死を悼む特別訓示に、ひしと胸をうたれつゝ在りし日の元帥の勲を偲ぶと共に、[illegible]を失つた悲しみと怒りに、復讐せずんば止まじと誓ひ合つた

職場に戻つた工員は、肩を叩いて互に勵まし合ひ、少年少女工員にいたるまで、一致團結、生産戰に仇を討つぞと奮ひ立つた

元帥は最前線に榮光の戰死を遂げられた。我等もまた、生産の最前線で戰死しよう。それがみ國に報い奉るわれらの務めだ。誇りだ。元帥の無言の遺訓が[illegible]に生きてゆくのだつた


元帥の偉業に
續け
マッシグラ

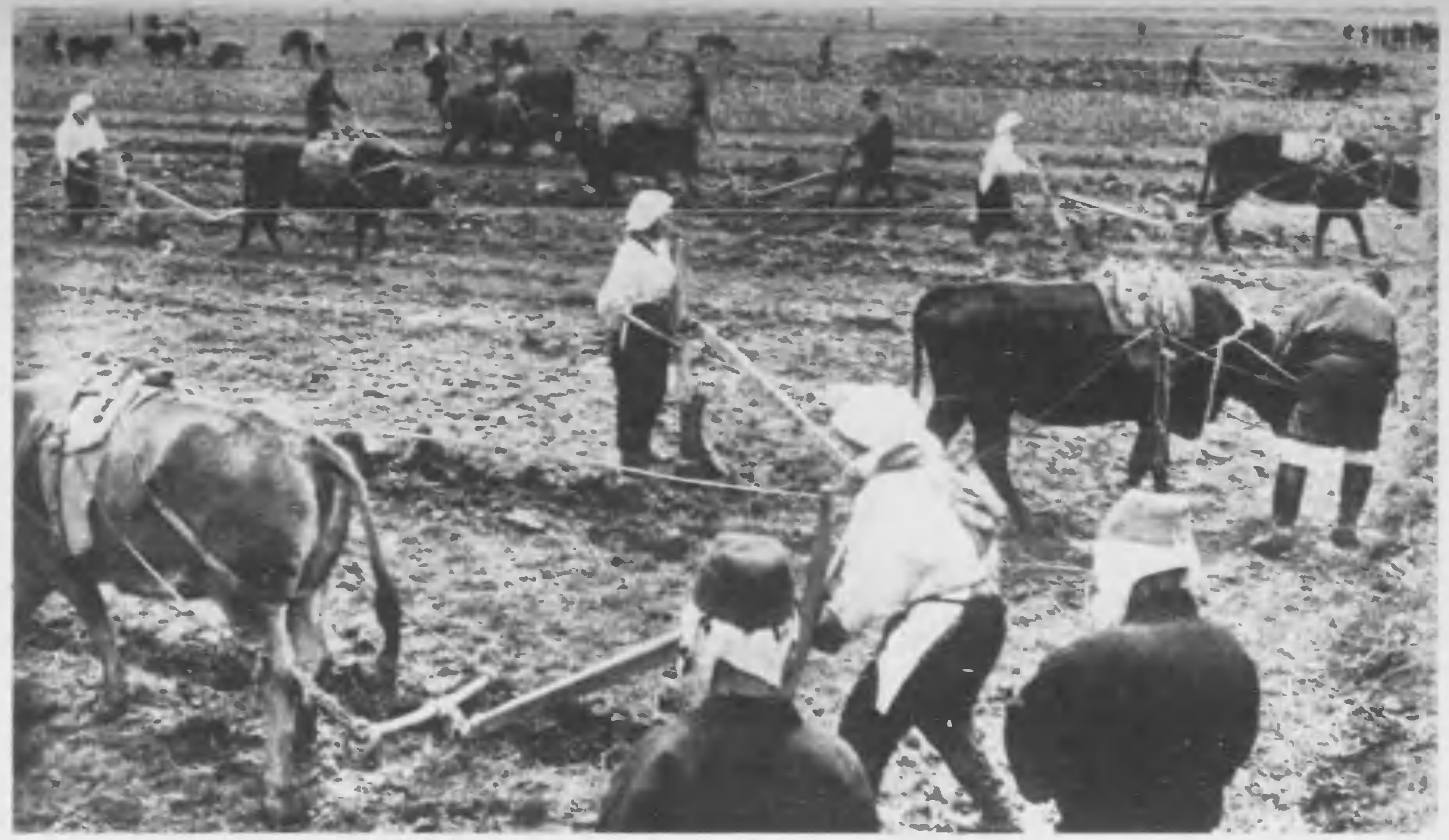
『我等は生産決死隊、海鷲よ、我等の造る武器で仇を討つてくれ』⇩

鬪志に燃ゆる生産工場

⇧僕のこの腕には山本魂が籠つてゐる。さあ、職場で討死するぞ

『増産を以て復讐せん』告示に産業戰士の決意は固い ⇩

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian



働く銃後は女手で

京都　明田耕太郎

⇧

前線の夫や兄に負けじとばかり、京都市農會主催の『牛耕競技會』に出場した女子選手中、最年少の十七歳の乙女が堂々入賞して、男子選手二十六名をあつといはせた。誠に頼もしい決戰下女性の姿である

汗みどろの女子選手に頼もしい銃後があるではないか（上）

⇧

男まさりの女子選手の敢鬪ぶりに息をのんで見入る審査員

⇦

繪を產業戰士に

大日本產業報國會

必勝の生產に敢鬪する產業戰士を激勵慰問のため、產報、青年社共催の巡回美術展覽會は日立製作所を皮きりに、茨城、栃木、群馬と開催され、すでに觀覽者十七万人に達してゐる。更に京濱地方に巡回されるが、勤勞と結びついた新らしい美術運動として注目される

⇖

★表　紙

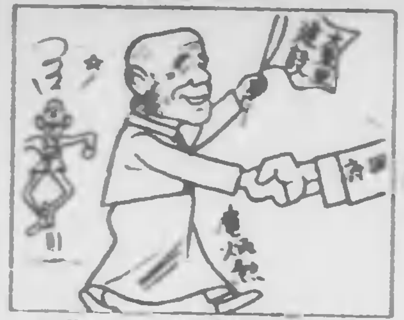
乾拓用の暗渠は十間に二十間の矩形を作りながら、網の目のやうに濕田を橫切つて作られてゆく。これで段當り二俵の增產は確實だし、裏作もできるのだ。溝を掘り土管を埋めた上を、地固めする娘たちが揃つて歌ふ暗渠の杵唄の一節を紹介しよう

〽兵に召された兄様に負けず
杵に打ち込む心意氣
打ち込む杵に
杵に打ち込む心意氣

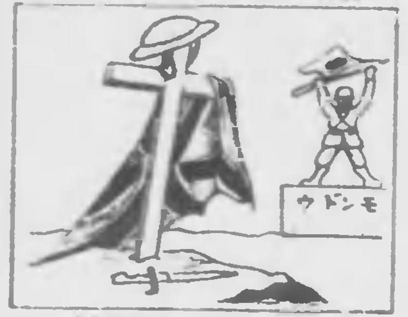
海軍關係寫眞の複寫複製は海軍省承認濟（第五二四二號）

大東亞戰爭漫畫日誌

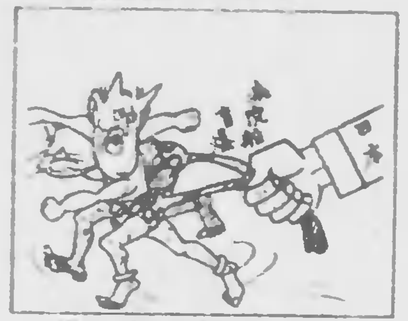
石川進介



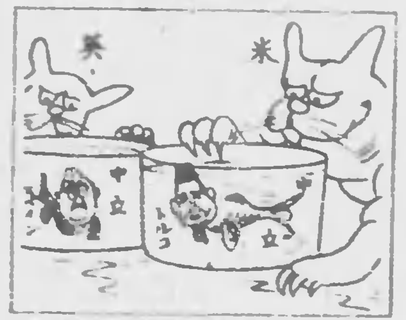
[illegible]興亞の正道に更生



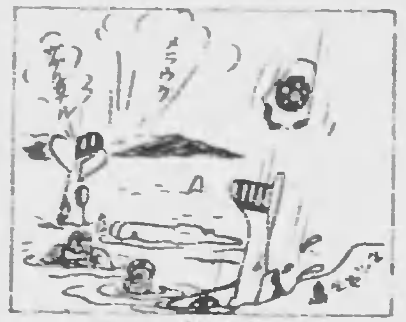
ビルマ侵入の英軍潰滅



米英の鬼畜爆撃に嚴重抗議



中立國につけこむ英米の魔手

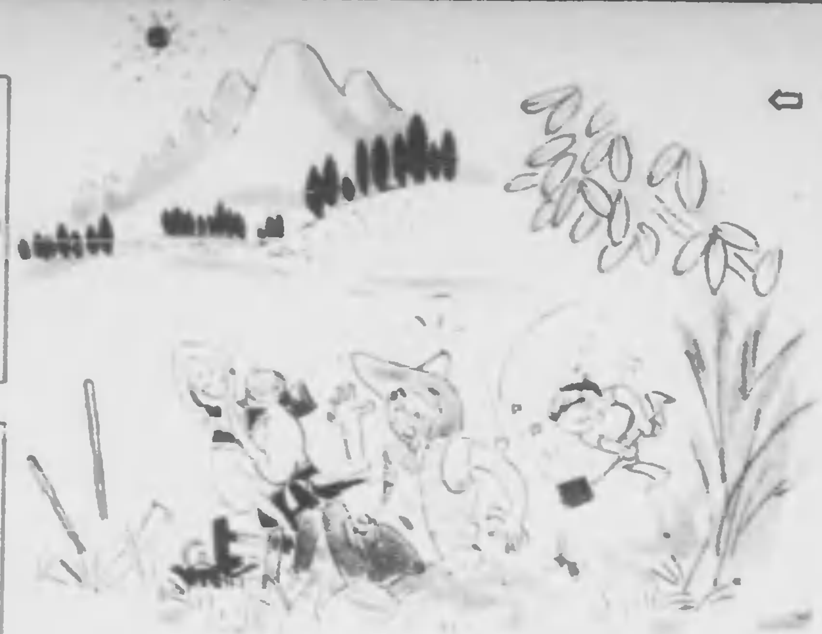


南太平洋の敵基地爆撃

照準器

決戰四十八手の内

白路　徹



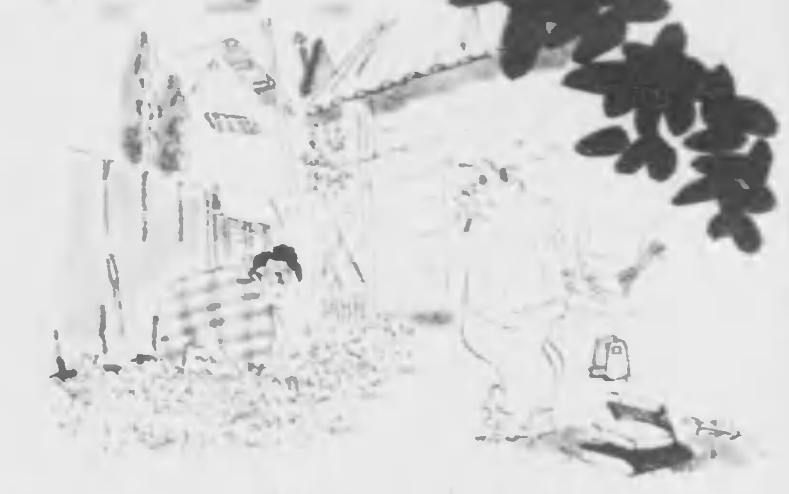
まめ倒し ⇩

『この菜はだネ何科に屬して、榮養は何パーセントかな。しかしてその栽培法は……』

『あなた理窟いふ間に草でもむしつてチョウダイ』

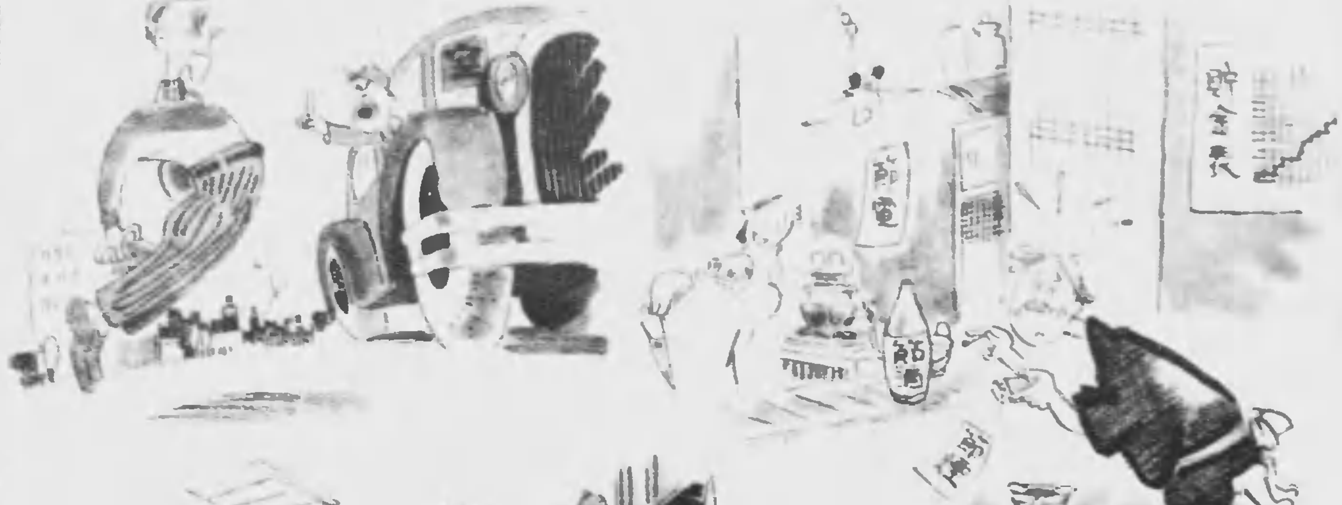
張り手 ⇦

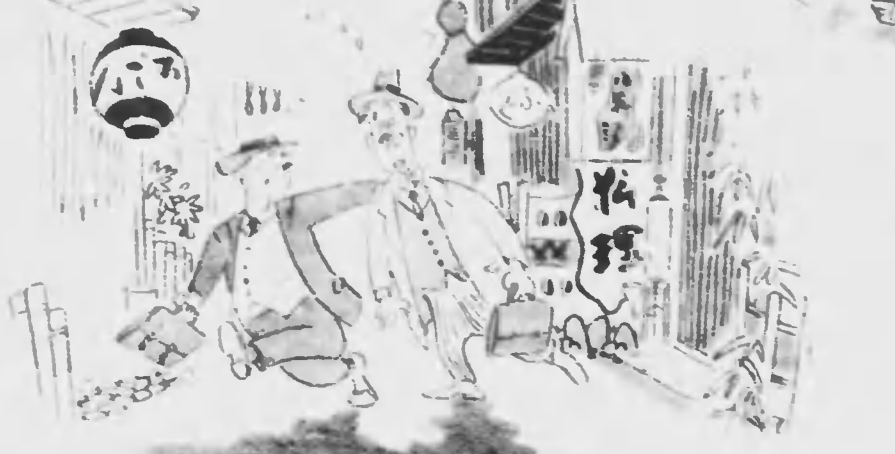
增產に大切なお父さんの胸の血を吸ふとは、につくい奴。ピシャリ



浴せ倒し ⇩

エッ？國技館まで冗談でせう。お見かけしたところ、お年も[illegible]も兵隊さんにハリノ、つてところぢやありませんか、歩いて行きなさい、歩いて





頭捻り ⇧

『あなた！　こんどは二百七十億貯蓄なのよ。今まで通りぢや心細いわ。頑張り通して頂戴』

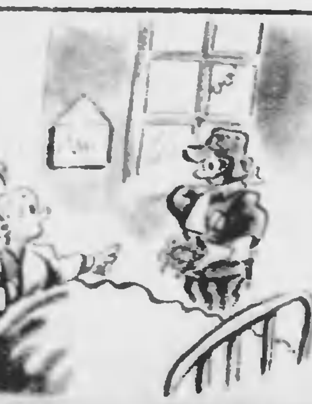
『なるほど考へたな』

のど輪攻め ⇦

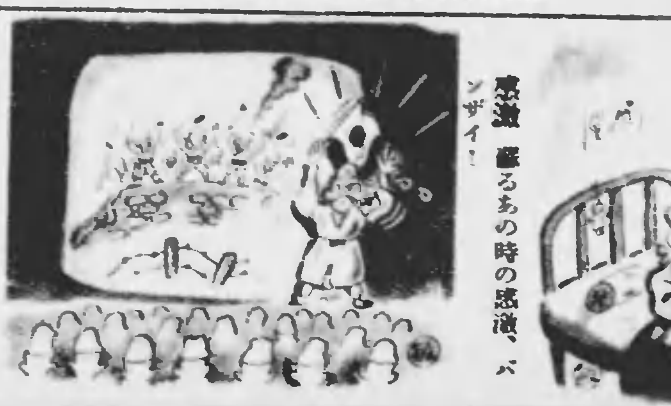
『町の往き歸りこゝを通らなくちやならぬとは……』

『チョッ何いつてる。だらしがないぞ。のどなんか鳴らして』

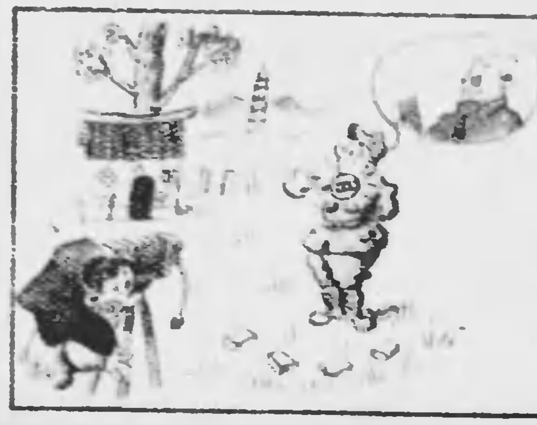
植木　敏



戰友　お前の傷を少しでも代つてやらうと思つてね……



感激　蘇るあの時の感激、バンザイ！



進級　親父はね……[illegible]が悪いから服を大きく揃つてくれ……

アジア歴史
Japan Center for

寫眞週報 昭和十三年三月十六日 第三種郵便物認可 昭和十八年六月二日發行（毎週一回水曜日發行） 第二百七十四號

彈丸切手

一枚二円

第十三回
賣出 六月一日↓十五日
抽籤 六月二十一日
割増金 一等千圓以下多數
當籤率 十一枚ニ付一枚ノ割合

抽籤の濟んだ切手は五枚以上まとめて郵便局へお差出しの上、特別据置貯金證書と引換へて下さい。

懸賞募集

課題 郵便貯金と

我が家の生活設計

二百七十億貯蓄を完遂するには、國民の一人一人が決戰段階に即應した生活設計を工夫して、現在より以上の貯蓄をどこから生み出すか、各種の郵便貯金制度をどう活用して行くかを再檢討して、一段と堅實に貯蓄を實踐しなければならない。その意味で實行性のあるものを御投稿下さい。

制限 字數には制限なきも必ず半紙大原稿紙使用のこと
審査 貯金局・大政翼贊會
賞金 入選 五篇 百圓（國債一枚）宛
佳作 五篇 五十圓（國債一枚）宛
宛先 貯金局規畫課第一奬勵係
締切 昭和十八年七月三十一日
發表 昭和十八年九月一日新聞等にて發表の豫定
其の他 (イ)住所氏名を明記すること
(ロ)應募作品に對する一切の權利は貯金局に於て取得す

寫眞週報（禁轉載）

昭和十八年六月二日印刷發行
編輯人 情報局 東京市麴町區永田町一ノ一
印刷人 發行人 內閣印刷局 東京市麴町區大手町

定價 一部十錢（送料一錢）
（外國郵送に依る地域は送料共一部十九錢）
▲特大號の場合は其の都度御拂込金より差額を申受けます

申込所 全國各地官報販賣所 書店・驛賣店 新聞販賣店 寫眞材料店

本誌を回覧に

本誌は目下新規申込に應じかねてをりますから、隣組や職場で回覧するなど、出來るだけ有効に御利用下さい

前線慰問にも

また御讀みになつたら本誌を前線慰問に送りませう。送料は內地と同樣で帶封あるひは開封にして第三種と明記すれば、一部一錢です。

（[illegible]・A4[illegible]）

內閣印刷局印刷發行